

添付資料

令和4年度 大阪府 AI オンデマンド交通モデル事業費補助金 交付事業の概要

事業名称	豊能町 西地区への AI オンデマンド交通導入に向けた実証
応募者	豊能町 AI オンデマンド交通実証実験協議会
事業計画概要	<p>阪急バス、京都タクシー、豊能町で協議会を立ち上げ、高齢者の移動課題の解消や子育て世代の利用増進に向け、R6年度のAI オンデマンド交通実装を見据え、R4年度に事業周知啓発及び約1カ月間の無料運行の実証実験を行う。</p> <p>また既存の全町民を対象にしたアプリと外部連携することにより利用促進及び人流分析なども実施し、次年度以降の事業につなげる。</p>
採択コメント	<p>既存の組織・サービスの活用と、関係者との合意形成が進んでいることを評価。</p> <p>AI オンデマンド交通に限らず路線バス等、周辺に係るデータやニーズ把握等の分析に期待。</p> <p>短期間の実証とはなるが、乗合率を高める工夫や、子育て世帯の移動ニーズにもしっかり応えられるよう周知PRを行ってほしい。</p>

事業名称	堺市泉北ニュータウン地域 移動支援サービスとしてのオンデマンドバス実証事業
応募者	南海電気鉄道株式会社
事業計画概要	<p>南海電気鉄道(株)や堺市など公民連携で設立した「SENBOKUスマートシティコンソーシアム」では幅広い世代が距離や利用シーンに応じて最適な移動手段を選択できる泉北ニュータウン地域の実現をめざしている。</p> <p>この取組の一環として、南海電気鉄道(株)が堺市において、令和6年度のAI オンデマンド交通実装に向け、R4年度は、住民ニーズの把握や課題抽出を目的に約2カ月間の有償運行の実証実験を行う。</p>
採択コメント	<p>地元住民や既存交通との調整を、しっかり行っただうえで、実効性の確保に努めてほしい。</p> <p>地域の課題が十分示されており、地元交通の中核となる交通事業者の積極的な姿勢について評価。</p> <p>新しい交通系体に不慣れであろうバスドライバーの、対応に関する課題等の抽出にも期待する。</p>